

# ハイライトよねやま 82

(財)ロータリー米山記念奨学会  
2006年12月12日発行

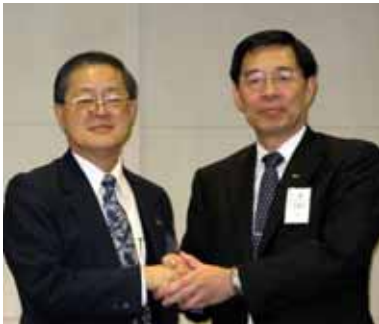
## 1. 寄付金速報 前年同比減少！連続記録更新ならず

11月までの寄付金は、前年同期と比べて1.0%減、約7百万円の減少となりました。普通寄付金が0.6%増、特別寄付金が1.8%減と、前月の6.3%増から一転して大幅な減少となりました。2005年7月から前月まで、16カ月連続で前年同期を上回ってきましたが、残念ながら11月でこの記録が途切れてしまいました。

要因の一つとして、創立記念寄付といった「クラブ扱い」特別寄付金が、前年度に比べて累計で約1千万円減少したことが挙げられます。12月には少しでも挽回できますよう、皆さまの更なるご協力をお願い申し上げます。

## 2. 台湾学友会総会出席報告 台湾学友会の新理事長が決定

台湾学友会の2006年度総会が12月2日(土)、台北で開かれました。雨が降るなか約80名の学友が参加し、会計報告、事業報告などの議事が進められました。今年は、3年ごとに行われる役員改選の年です。理事・監事の選挙が行われ、続いて選任された理事の互選により、新執行部が決定されました。9月に開催された台湾シンポジウムをはじめ、これまで多大な貢献をされた陳思乾理事長が退任し、後任には阮允恭氏【1971-74 / 神戸大学大学院 / 神戸 RC】が来年1月から新理事長



阮允恭 次期理事長(左)と  
陳思乾 理事長(右)

として就任することになりました。スピーチに立った阮氏は、学友会活動への積極的な参加を呼びかけるとともに、台湾学友会の発展に全力を尽くす決意表明を行い、会場から万雷の拍手を受けました。

また、許國文パストガバナーの提案で検討されていた、台湾で学ぶ日本人留学生へ奨学金を支給する構想についても陳理事長から発表があり、遅くとも再来年の実現を目指すことが決まりました。そして、今後ますます日本との協力関係を強化し、米山奨学事業の発展を目指すことが確認されました。(事務局長 坂下博康)

## 3. 外務省の招へいで米山学友が来日

元日本留学者を日本へ招き、現在の日本への認識と絆を深めてもらうとする外務省主催の企画、「元日本留学者の集い」が11月12日～18日に開催されました。

昭和49年に始まったこの事業には、これまで2,000人以上もの元留学者が「集い」に参加しています。今回は南西アジアや中東を中心に24人が集まり、このうち2人が米山学友でした。



イミヤ ムデヤンセラゲ・カマラ リヤナゲさん (スリランカ・写真右)

1987-88 度米山奨学生、世話クラブは東京江東 RC。現在は、スリランカの女性にとっては極めて狭き門とされる母国の名門、ペラデニヤ大学の学部長。“ロータリー”の名前を聞いた途端に目を輝かせ、「今の私があるのもロータリーのおかげ」と、何度もお礼を述べる姿が印象的でした。

フェルドーシ・ハシナさん (バングラデシュ・写真左)

1993-95 度米山奨学生、世話クラブは松本南 RC。母国の日本大使館で留学アドバイザーをつとめています。「奨学生の時にいろいろなクラブに卓話に行けてとても楽しかったです。日本の魅力を伝える今の仕事にも役立っています。いつか松本にもまた行きたいです」と笑顔を見せました。

交通事故で瀕死の重傷を負いながらも、陶芸への情熱をばねに後遺症を克服し、現在は和歌山県龍神村にアトリエを構える新進気鋭の陶芸家、張<sup>ツァン イーミン</sup>義明さん【台湾 / 1997-99 年 / 和歌山大学大学院 / 和歌山城南 RC】。彼の活躍は、これまでも『ロータリーの友』“よねやまだより”(2004年3月号)や「ハイライトよねやま」でお伝えしてきましたが、その張さんから、長年の念願であった母国・台湾で個展を開催するとの嬉しいニュースが飛び込んできました。会場は、“陶芸の町”として有名な台北県立鶯歌陶芸博物館、主催は台北県政府、会期は06年11月24日から07年1月14日までのおよそ2ヶ月間という快挙です。

11月25日に開催されたオープニングセレモニーには、同じ米山学友の仲間として、台湾米山学友会の阮允恭次期理事長をはじめ、11人もの学友会メンバーが駆けつけ、張さんを激励しました。



小学生たちに陶芸の講義をする張義明さん

個展のテーマは「縁・源・円」。

このテーマを選んだ理由は、

「交通事故に遇った私をここまで支えてくださった日本のロータリーをはじめとするたくさんの方々、また、この個展を機に出会う方々との<縁>、自分がこうして陶芸をすることができる、その原点である<源>、これらすべてへの感謝の気持ちを純白の陶の形<円>に込めました」とのこと。

会場では、少しでも陶芸を身近に感じてほしいとの思いから、実際に触れる作品も展示。また、「今ま

で皆さまからいただいたご恩を、ロータリーで学んだ奉仕の精神で自分なりにお返ししていきたい」との思いから、博物館の協力も得て、障害児や子供達、一般の人々を対象にボランティアで陶芸教室も開催しています。

「これをきっかけに日本と台湾の文化芸術交流の懸け橋となるよう、引き続き、<感じる心・感動する心・感謝する心>という三つの心で自己研鑽に努めてまいりたいと思います」と、これからの抱負を語ってくれた張さん。一步一步、夢を実現していく彼の活躍にこれからも目が離せません。



## 重要なお知らせ

ロータリー米山記念奨学会は、「特定公益増進法人」の許可を受けています(平成18年10月1日に更新されました)。今年1年間(1~12月)に、5千円以上の特別寄付をされた方は、**税法上の優遇措置(寄付金控除)**が受けられます。申告用領収書は来年1月末までにクラブ経由でお送りします。なお、来年の確定申告は、12月29日(金)までに入金されたご寄付が対象です。

## 年末年始の休業について

米山奨学会事務局は、年末年始は12月28日(木)~1月8日(月)の間休業させていただきます。来年は1月9日(火)より通常業務となりますので、よろしく願いいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15  
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>  
編集担当：野津・峯・大庭



今年も一年間  
ありがとうございました